

**平成26年度
島田市公共施設白書**

平成27年 2月

島田市

目次

第1章	はじめに	1
1-1	背景	1
1-2	目的	1
1-3	この白書が対象とする施設	2
1-4	公共施設の用途別分類	2
第2章	島田市の概要	3
2-1	島田市の概況	3
2-2	人口	4
2-3	財政	6
2-4	公共施設の保有状況	9
第3章	用途ごとにみた公共施設の現状	11
3-1	庁舎施設	14
3-2	文化施設	17
3-3	社会教育施設	20
3-4	公民館等施設	24
3-5	学校教育施設	31
3-6	体育施設	40
3-7	児童福祉関連施設	44
3-8	保健福祉施設	49
3-9	医療施設	54
3-10	市営住宅施設	57
3-11	商工施設	64
3-12	観光施設	67
3-13	消防施設	71
3-14	防災関連施設	78
3-15	公園等施設	81
3-16	駐車場施設	86
3-17	上水道施設	88
3-18	下水道施設	91
3-19	環境衛生施設	94
3-20	その他施設	98
第4章	今後の公共施設の整備の在り方	101
4-1	公共施設を取り巻く情勢	101
4-2	公共施設の補修・改修・建替えに関する課題	102
4-3	今後の進め方	104

第1章 はじめに

1-1 背景

島田市では、高度成長期以降における人口の増加を背景に、市民生活や社会経済活動を支えるため、必要な公共施設の整備を進めてきました。島田市が保有する公共施設は、昭和50年代以前に整備されたものが多く、老朽化や耐震性能の面で既に課題が生じている公共施設も存在します。

また、少子高齢化の進行や市民ニーズの高度化・多様化といった行政を取り巻く環境の変化に伴い、市民の利用率が当初の計画より下回り、本来の機能が十分に発揮できていない公共施設もあると考えられます。加えて、2度の合併により公共施設の重複が生じており、公共施設の配置の在り方の根本的な見直しも視野に入れつつ検討することが必要な状況となっています。

今後、公共施設の老朽化の進行に伴い、これらの修繕や更新が集中する時期が到来することが懸念されます。国・地方ともに財政状況が厳しさを増す中、財政負担の集中を避け、平準化を図るためには、長期的かつ総合的な視点のもと、公共施設の修繕や更新を計画的に進めていくことが求められます。

さらに、少子高齢化が進行し人口減少社会が到来する中、本市においても既に人口は減少の局面に転じており、今後もこの傾向が続くものと予測されます。生産年齢人口の減少に伴う税収の減や少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加などにより、公共施設の修繕や更新のための財源の確保が困難となるとともに、公共施設に対する需要の縮小に伴い使用頻度の低い公共施設が増加することが想定されます。

このような社会情勢の変化を考慮し、ニーズに見合った公共施設の在り方を検討しなければなりません。そのためには、島田市が保有する公共施設について、その現況と課題をあらゆる視点から明らかにし、把握しておく必要があります。

1-2 目的

上記のことを念頭に置き、島田市が平成26年度から本格的に取組をスタートさせた「島田市公共施設マネジメント」の取組の一環として、島田市が保有する公共施設の「ありのままの姿」を、公共施設を取り巻く社会情勢とともに「見える化」することを目的として、「島田市公共施設白書」を作成します。

その上で、この白書で明らかとなった課題を解決すべく、全庁的な視点で、将来の公共施設の望ましい在り方を検討していきます。この白書は、その取組の出発点となるものです。

1-3 この白書が対象とする施設

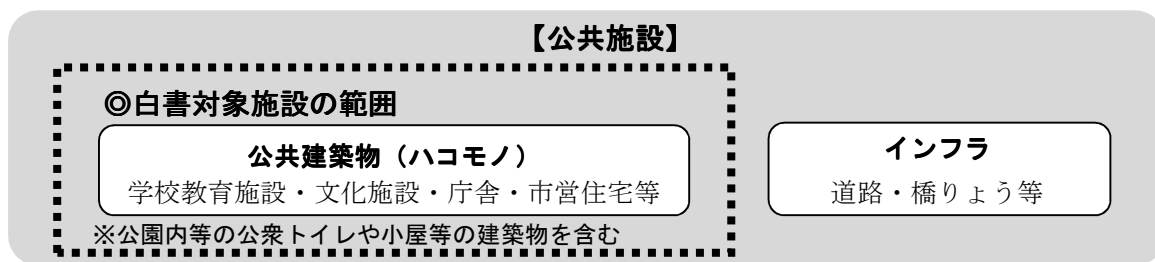
島田市では、小・中学校等の学校教育施設や文化施設、市営住宅や公園など、広く市民の皆様にご利用されている公共施設を数多く保有しています。

この白書において対象とする公共施設（以下「白書対象施設」という。）は、学校教育施設や文化施設、庁舎施設などの「公共建築物（いわゆるハコモノ）」で、道路・橋りょうなどの「土木構造物（インフラ）」や土地のみの資産を除きます。

※白書対象施設は、公有財産台帳（平成25年度）に基づき整理します。

※白書対象施設に係る保有状況や経過年数等は、平成26年3月末現在で記載しています。

図1-1 白書で対象とする公共施設の範囲



1-4 公共施設の用途別分類

この白書では、公共施設に関する課題を明らかにするため、白書対象施設を次のように用途別に分類し、配置の状況、築年数、老朽化の状況、利用状況、収支状況などの視点から用途ごとに現況を整理することとします。

図1-2 公共施設用途分類表

大分類（20分類）	小分類	該当する施設（例）
庁舎施設	庁舎施設	本庁舎
文化施設	文化施設	市民会館、博物館
社会教育施設	社会教育施設、図書館	野外活動センター、図書館
公民館等施設	公民館等、集会施設	公民館、地区集会施設
学校教育施設	小学校、中学校、その他学校教育施設	小中学校、学校給食共同調理場
体育施設	体育施設	体育館
児童福祉関連施設	保育園、児童施設	保育園、放課後児童クラブ
保健福祉施設	福祉施設、心身障害者援護施設、その他保健福祉施設	老人福祉センター、こども発達支援センター、看護専門学校
医療施設	医療施設	市民病院、市民病院医師住宅
市営住宅施設	市営住宅施設	市営住宅、子育て世代型住宅
商工施設	商工施設	農産物加工体験施設
観光施設	観光施設、歴史的建造物	温泉施設、観光トイレ
消防施設	消防署、消防団車庫・詰所	消防庁舎、消防団車庫・詰所
防災関連施設	防災関連施設	防災センター
公園等施設	公園等施設	管理棟、トイレ
駐車場施設	駐車場施設	自転車等駐車場
上水道施設	上水道施設	浄水場、配水池
下水道施設	下水道施設	浄化センター
環境衛生施設	処理施設、斎場	清掃センター、斎場
その他施設	その他施設	倉庫

第2章 島田市の概要

2-1 島田市の概況

2-1-1 地勢

- ・島田市は、静岡県のおぼ中央に位置しています。北には南アルプスへ続く山々が連なり、南西には緑豊かな牧之原台地が広がります。また、南アルプスに源を發し、駿河湾にそそぐ大井川が、市内を流れています。
- ・市の総面積の3分の2（約66.2%）を森林が占め、残りの3分の1は耕地、宅地、河川敷などとなっています。可住地面積割合は33.7%で、県全体の平均（35.7%）よりも低くなっています。

2-1-2 行政

- ・島田市は、平成17年に旧島田市と旧金谷町の合併により誕生し、その後、平成20年の川根町との合併を経て、現在に至っています。
- ・島田市は、まちづくりの総合的な指針となる「島田市総合計画（後期基本計画）」を平成25年度に策定しました。この中で、平成26年度から平成29年度までのまちづくりについて、「人と産業・文化の交流拠点 水と緑の健康都市 島田」というまちの将来像の実現に向け、「ここにしかない「個性」を大切に どこよりも「元気」に とともに支え合い「協働」して」という基本理念に沿って取り組むこととしています。この計画では、まちづくりの基本理念のもと、まちづくりの目標として「市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち」など7つの「施策の大綱」を定めるとともに、各施策の達成状況を測るための指標となる「めざそう値」を設定し、まちの将来像の実現に向けた取組を推進しています。

図2-1 島田市の概況

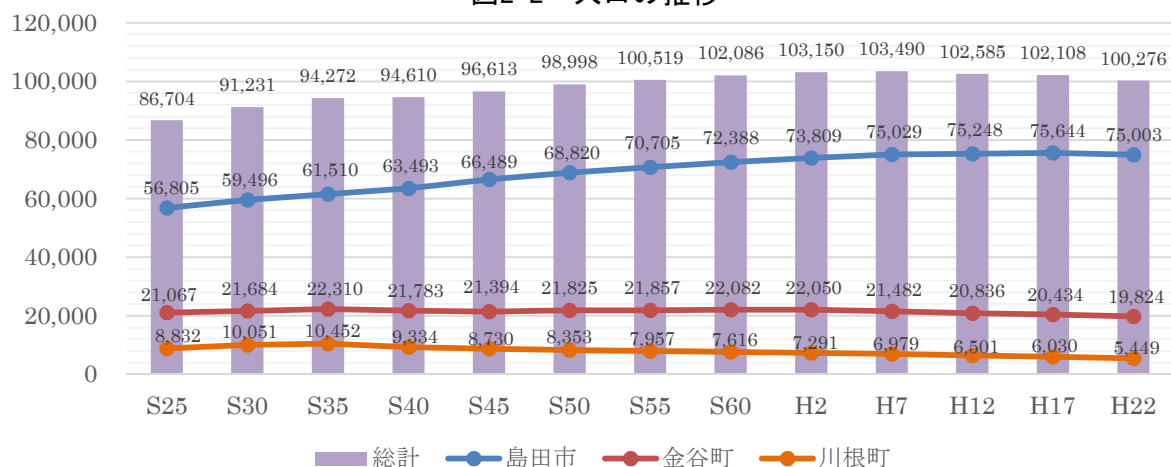
人口（平成26年9月末現在）	101,045人
世帯数（平成26年9月末現在）	36,396世帯
財政力指数（平成25年度単）	0.757
歳入総額（一般会計） 平成25年度決算	374.5億円
歳出総額（一般会計） 平成25年度決算	356.1億円

2-2 人口

2-2-1 総人口の推移

- ・国勢調査に基づく島田市（合併前における島田市、金谷町及び川根町）の人口の推移は、昭和25年の時点では約8万7千人でしたが、その後緩やかに増加を続け、平成7年の時点では約10万3千人となりました。その後は減少に転じ、平成22年の時点では約10万人となっています。
- ・合併前の島田市では、平成2年までは2パーセントから4パーセント台の増加率で推移していましたが、その後は増加率が緩やかとなり、平成22年には減少に転じました。
- ・合併前の金谷町では、平成2年までは若干の増減はあるもののおおむね横ばいで推移し、平成7年以降は一貫して減少する傾向にあります。
- ・合併前の川根町では、昭和40年以降一貫して減少傾向にあり、減少率は4パーセントから10パーセント台となっています。

図2-2 人口の推移

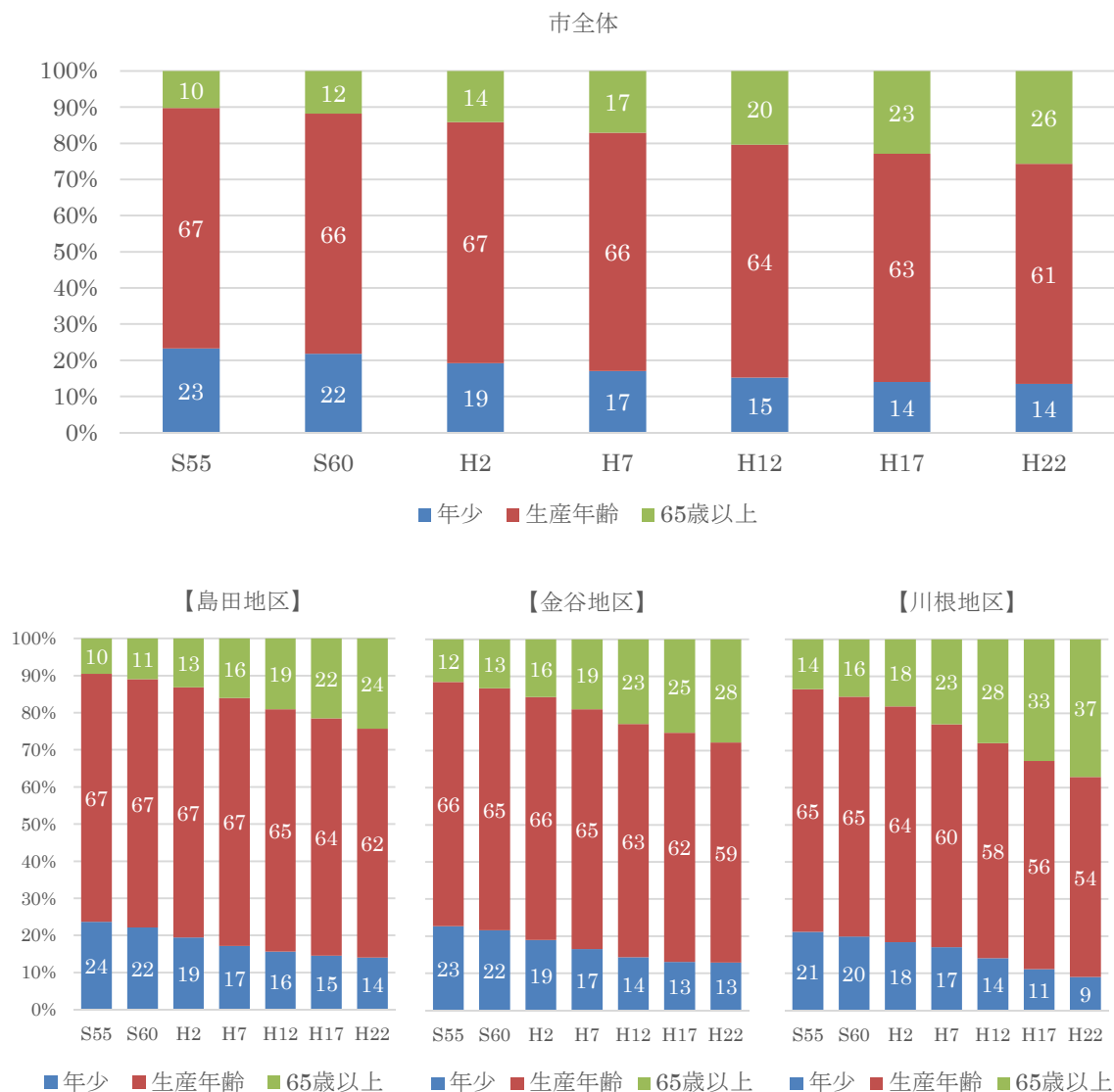


資料：国勢調査結果に基づき作成

2-2-2 年齢構成別人口の推移

- ・国勢調査に基づく島田市の年齢構成別人口をみると、合併前の島田市、金谷町及び川根町ともに、データがある昭和55年以降、65歳以上人口が増加する一方で年少人口（0歳から14歳までの人口）が減少する「少子高齢化」の傾向が続いています。
- ・合併前の島田市、金谷町及び川根町の合計値をみると、昭和55年の時点では総人口に占める65歳以上人口の割合は約10パーセントでしたが、平成22年の時点では約26パーセントを占めています。一方、年少人口は、昭和55年の時点では約23パーセントでしたが、平成22年の時点では約14パーセントにまで下落しています。

図2-3 年齢構成別人口の推移



資料：国勢調査結果に基づき作成

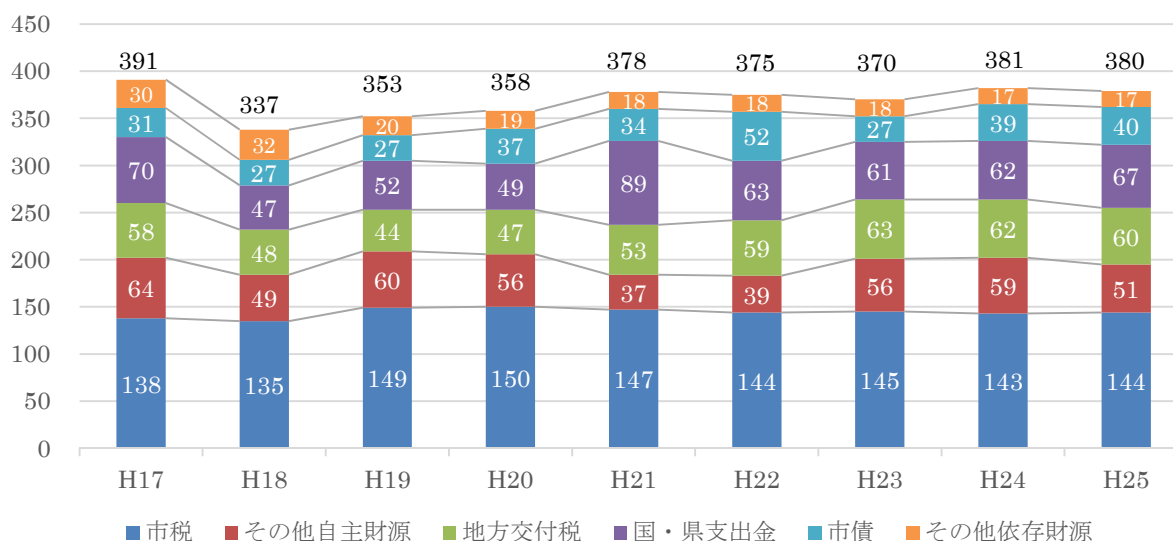
2-3 財政

2-3-1 歳入の推移（普通会計）

- ・島田市の歳入の状況を普通会計決算ベースみると、総額では新市誕生直後に若干の増減が見られますが、最近5年間は370億円から380億円の間で推移しています。
- ・平成25年度の歳入の内訳をみると、市税が約144億円で歳入全体の約38%を占め、次いで国・県支出金が約18%、地方交付税が約16%となっています。

図2-4 歳入状況（普通会計決算）

（単位：億円）



※平成17年度については合併前の島田市及び金谷町並びに川根町の決算額を、平成18年度及び平成19年度については島田市及び川根町の決算額を、それぞれ合算しています。

資料：島田市決算統計資料に基づき作成

【歳入に関わる語句の説明】

○普通会計

地方公共団体ごとに各会計が異なっているため、財政状況の統一的な把握及び比較するための統計上用いられる会計区分で、一般会計と2つの特別会計の純計をいう。

○地方交付税

地方公共団体の自主性を損なわず、地方財源の均衡化を図り、かつ地方行政の計画的な運営を保障するために国税の一定割合の額を国が地方公共団体に交付する税のこと。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付される特別交付税がある。

○国庫支出金

国と地方公共団体の経費負担区分に基づき、国が地方公共団体に対して支出する負担金、委託費、特定の施策の奨励又は財政援助のための補助金等

○県支出金

県の市町村に対する支出金

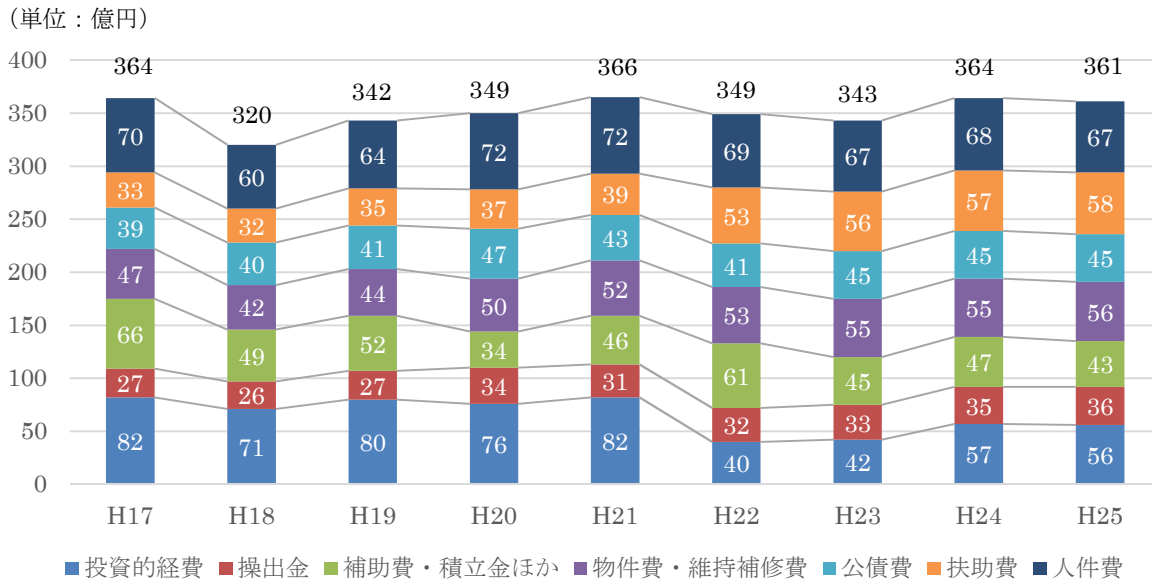
○市債

地方公共団体の長期借入金（年度を超えて元利を償還する借入金）のことをいう。

2-3-2 歳出の推移（普通会計）

- ・島田市の歳出の状況を普通会計決算ベースみると、総額では新市誕生直後に若干の増減が見られますが、その後は340億円台から360億円台の間で推移しています。
- ・歳出の内訳の推移をみると、投資的経費の割合が減少する傾向にある一方、義務的経費は増加する傾向にあります。

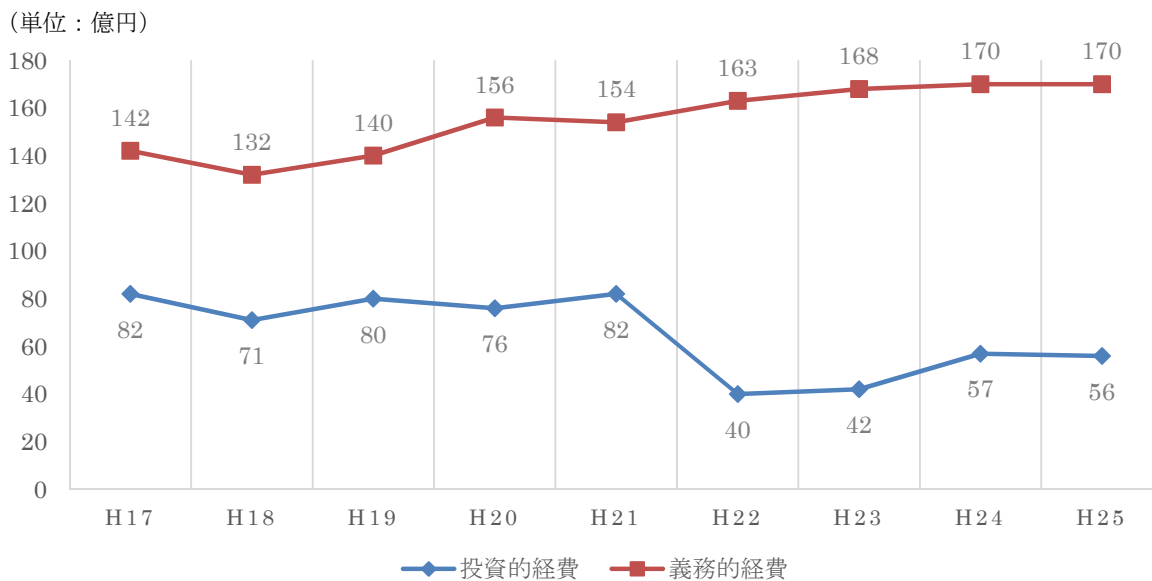
図2-5 歳出状況（普通会計決算）



※平成17年度については合併前の島田市及び金谷町並びに川根町の決算額を、平成18年度及び平成19年度については島田市及び川根町の決算額を、それぞれ合算しています。

資料：島田市決算統計資料に基づき作成

図2-6 義務的経費・投資的経費の推移（普通会計決算）

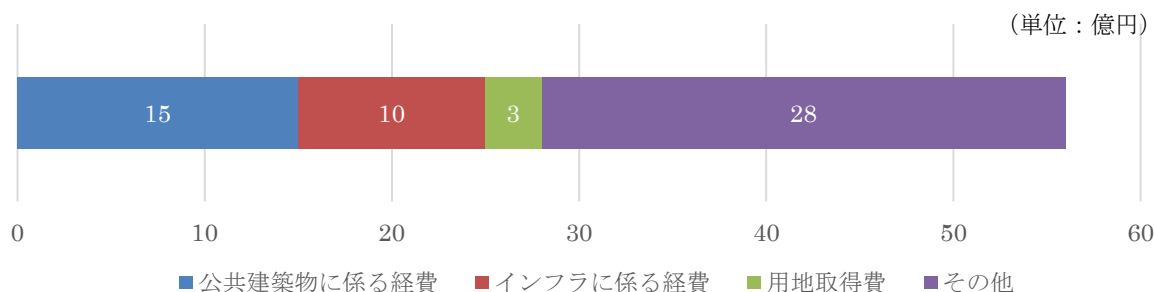


資料：島田市決算統計資料に基づき作成

2-3-3 投資的経費の内訳

- ・島田市の平成25年度普通会計歳出決算の投資的経費の内訳をみると、投資的経費約56億円のうち、公共建築物の新設・修繕・更新等に係るものは約15億円となっています。

図2-7 投資的経費の内訳



資料：島田市決算統計資料及び財務会計システムデータに基づき作成

【歳出に関わる語句の説明】

○投資的経費

道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅等の建設等社会資本の整備等に要する経費であり、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費から構成される。

○義務的経費

非弾力的性格の強い経費で、一般には、人件費、扶助費、公債費を指す。

○人件費

議員報酬、職員給与、その他報酬、賃金の額

○扶助費

社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者等に対する支援に要する経費。児童手当・医療費助成、生活保護費等

○公債費

地方公共団体が発行した地方債の元利償還等に要する経費

○物件費

人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の地方公共団体が支出する 消費的（支出の効果が単年度または極めて短期的なもの）の費用の総称

○その他

上記に該当しないもの

2-4 公共施設の保有状況

2-4-1 概況

- ・島田市が保有する公共施設には、公民館や体育館、図書館など市民の皆様に広く利用されているものや、庁舎など市が事務を実施するために用いるものがあります。
- ・平成25年度末現在、白書対象施設数は338施設、建物数782棟、延床面積360,534.65㎡となっています。

図2-8 公共施設保有状況

用途		該当する施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	
大分類	小分類				小分類	大分類
庁舎施設	庁舎施設	本庁舎、金谷庁舎、川根庁舎等	5	22	12,926.11	12,926.11
文化施設	文化施設	市民会館、市民総合施設プラザおおり、博物館等	7	11	22,696.45	22,696.45
社会教育施設	社会教育施設	野外活動センター山の家、山村都市交流センター、しまだ学習センター*	3	11	3,501.27	7,752.93
	図書館	島田図書館等	3	1	4,251.66	
公民館等施設	公民館等	公民館、農村環境改善センター等	9	9	7,647.40	15,045.16
	集会施設	地区多目的集会施設等	29	20	7,397.76	
学校教育施設	小学校	小学校	18	137	88,509.28	143,084.14
	中学校	中学校	7	69	50,681.34	
	その他施設	学校給食共同調理場、教育センター等	7	15	3,893.52	
体育施設	体育施設	総合スポーツセンターローズアリーナ、島田球場等	14	19	16,229.36	16,229.36
児童福祉関連施設	保育園	保育園	4	5	3,458.87	6,510.76
	児童施設	こども館、放課後児童クラブ等	15	6	3,051.89	
保健福祉施設	福祉施設	保健福祉センター、老人福祉センター伊太なごみの里等	14	12	8,695.63	13,059.08
	心身障害者援護施設	こども発達支援センターふわり等	4	4	1,340.25	
	その他保健福祉施設	看護専門学校	1	2	3,023.20	
医療施設	医療施設	市民病院、市民病院医師住宅	7	38	41,409.98	41,409.98
市営住宅施設	市営住宅施設	市営住宅、子育て世代型住宅等	28	131	20,018.82	20,018.82
商工施設	商工施設	伊久身農産物加工体験施設等	4	4	757.01	757.01
観光施設	観光施設	お茶の郷、川根温泉「ふれあいの泉・コテージ」等	28	53	11,575.87	12,109.24
	歴史的建造物	大井川川越遺跡	1	5	533.37	
消防施設	消防署	消防署・分遣所	5	14	6,254.89	9,683.45
	消防団車庫・詰所	消防団車庫・詰所	52	52	3,428.56	
防災関連施設	防災関連施設	防災センター、防災倉庫等	9	9	1,814.33	1,814.33
公園等施設	公園等施設	管理棟、トイレ、休憩所等	36	70	2,953.74	2,953.74
駐車場施設	駐車場施設	自転車駐車場	2	2	1,744.70	1,744.70
上水道施設	上水道施設	浄水場、配水池	3	10	1,547.50	1,547.50
下水道施設	下水道施設	浄化センター、クリーンセンター、住宅団地汚水処理場等	5	11	12,583.34	12,583.34
環境衛生施設	処理施設	田代環境プラザ、旧清掃センター等	6	22	13,708.23	16,540.90
	斎場	島田斎場、金谷斎場	2	9	2,832.67	
その他施設	その他施設	上記用途以外の施設	10	9	2,067.65	2,067.65
計			338	782	360,534.65	

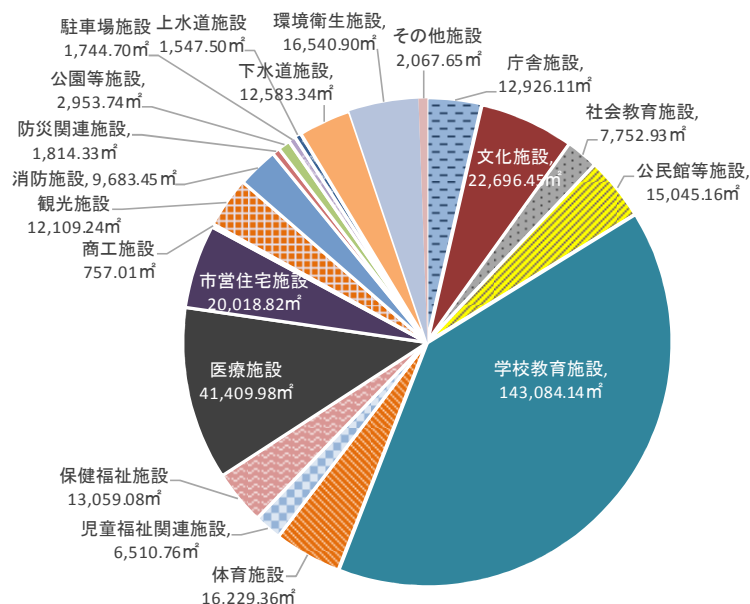
※民間建物を借り上げている施設については、棟数・延床面積には含んでいません。

※複合施設については、施設数はそれぞれに集計、棟数は主体施設のみに集計、延床面積は使用用途別に集計しています。

2-4-2 用途別保有状況

白書対象施設の用途別の延床面積の内訳をみると、学校教育施設が143,084.14㎡で約40%を占めています。次いで、医療施設が41,409.98㎡で全体の約12%を占め、文化施設が22,696.45㎡で全体の6%を占めています。

図2-9 施設用途別の建物延床面積の内訳（平成26年3月末現在）

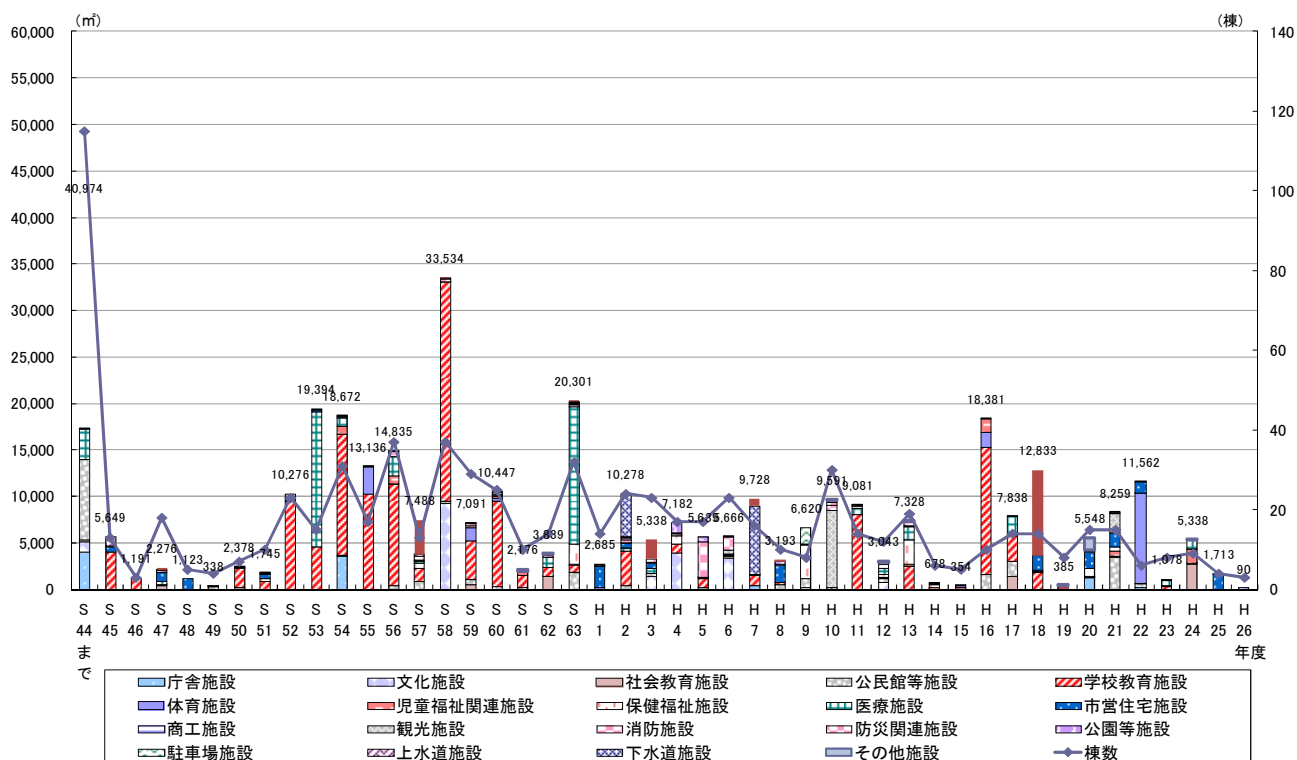


2-4-3 築年別整備状況

白書対象施設の築年別整備状況をみると、昭和50年代から昭和60年代にかけて建築された建物が多くを占めています。

これらの建物は建築後30年以上を経過しており、今後、老朽化の進行に伴い大規模な修繕や更新のための支出が増加することが予測されます。

図2-10 築年別整備状況（延床面積）



第3章 用途ごとにみた公共施設の現状

この章では、今後の公共施設の整備の方向性を検討するに当たって必要となる基礎的な情報を得るため、島田市が保有する公共施設の現況を用途別に整理します。基本構成は下記のとおりとします。

(1) 保有状況

用途別の公共施設の保有状況（延床面積、建築年等）を整理します。

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

各公共施設の設置目的や施設の機能等に応じ、品質、管理運営経費、利用の3つの観点を中心に現状を整理します。

① 品質状況

一般的に建築物は建築後30年を経過すると劣化が急激に進むとされているため、建築から30年以上経過した施設を用途別に整理します。

※建築年が不明の建物は対象外とします。

② 管理運営経費の状況

各公共施設において年間にどの程度の収入があり、施設の管理運営等に要する額として市が負担する額（市負担額＝施設及び事業運営に係るコスト、人件費、指定管理料などを含む）がどの程度発生しているかについて整理します。

③ 利用状況

各公共施設の利用状況を用途別に整理します。ただし、庁舎施設、消防施設、防災関連施設、公園等の利用者の把握が困難な公共施設は除きます。

記載内容について

この章では、白書対象施設の現状を把握するため、施設の基本情報や建物（棟）情報、収支状況、利用状況等に関する「公共施設実態調査」を、施設を所管する担当課を対象に実施しました。第3章では、公共施設実態調査の結果などをもとに、施設用途別に現状を整理しました。

項目説明

1. データ基準日

データは平成26年3月末を基準日としています。なお、データが不明、調査中又は算定等ができない場合は、「-」で表示しています。

2. 施設一覧

- (1) 地域…施設の所在地について、「島田市都市計画マスタープラン（平成22年3月策定）」における地域区分を記載しています。
- (2) 延床面積…建物の延床面積（小数点以下第2位四捨五入）です。複合施設については、当該施設の使用する面積を記入しています。
- (3) 建築年…建物（棟）の建築年を記入しています。ただし、複数棟で構成されている施設は、主な建物（棟）の建築年を掲載しています。
- (4) 経過年数…建物が建築されてからの経過年数を平成26年3月末で算出しています。（建築年月が不明の施設は算出対象外としています。）

3. 管理運営経費

- (1) 管理運営に係る経費の過去3年間の決算額（千円未満四捨五入）を基本に整理しています。市負担額として、施設及び事業運営に係るコスト、人件費、指定管理料から市の収入（施設使用料その他市の会計に歳入（収益）として計上されるもの）を引いて算出しています。また、一定の条件に基づき計上しており、決算額と異なるため、目安として考えてください。
 - ▶ 職員人件費は、当該施設に従事する職員数に平均給与額を乗じて算出していますので、実際の支払額（決算額）とは異なります。
- (2) 施設及び事業運営に係るコストに含まれる予算科目は、光熱水費、工事請負費・修繕費（新設費用を除く。）、土地・建物等の使用料及び賃借料（借上料を除く。）、委託料（事業委託、施設管理等に係る委託）、需用費、役務費、備品購入費などとなっています。
 - ▶ 運営主体が指定管理者の場合、管理運営に係る全ての経費が指定管理料として計上されているため、他施設との比較になじまない数値となっています。
- (3) 面積あたりの市負担額（円/㎡）…市負担額（円単位）を延床面積で除して算出しています。
- (4) 1日平均利用者数（人）…年間延べ利用者数を開館日数等で除して算出しています。
- (5) 面積あたり1日平均利用者数（人/㎡）…上記(4)で算出した1日平均利用者数を延床面積で除して算出しています。
- (6) 面積あたり園児数・児童数・生徒数（人/㎡）…園児数・児童数・生徒数を延床面積で除し

て算出しています。

- (7) 入居率…入居戸数を入居可能戸数で除して算出しています。
- (8) 利用率…施設の部屋別に設定されているコマ数（午前・午後・夜間などの貸し出し単位数）のうち実際に利用されたコマ数の割合について、年間利用実績コマ数を年間利用可能コマ数で除して算出しています。

4. 利用状況

各施設の年間の利用者（入所者等を含む。）を整理し、施設の用途に応じて「面積あたり1日平均利用者数」「利用率」、「面積あたりの市負担額」などをグラフで表示しています。なお、学校や幼稚園など利用者が限られる施設は、園児数、児童数や生徒数で整理しています。また、利用者のない又は集計が困難な施設については、当該項目を除いています。

3-1 庁舎施設

(1) 保有状況

庁舎施設は、市役所庁舎、金谷庁舎、川根庁舎など5施設を保有し、建物数22棟、延床面積12,926.11㎡となっています。配置状況は図3-1-1のとおりです。

図 3-1-1 配置状況（庁舎施設）

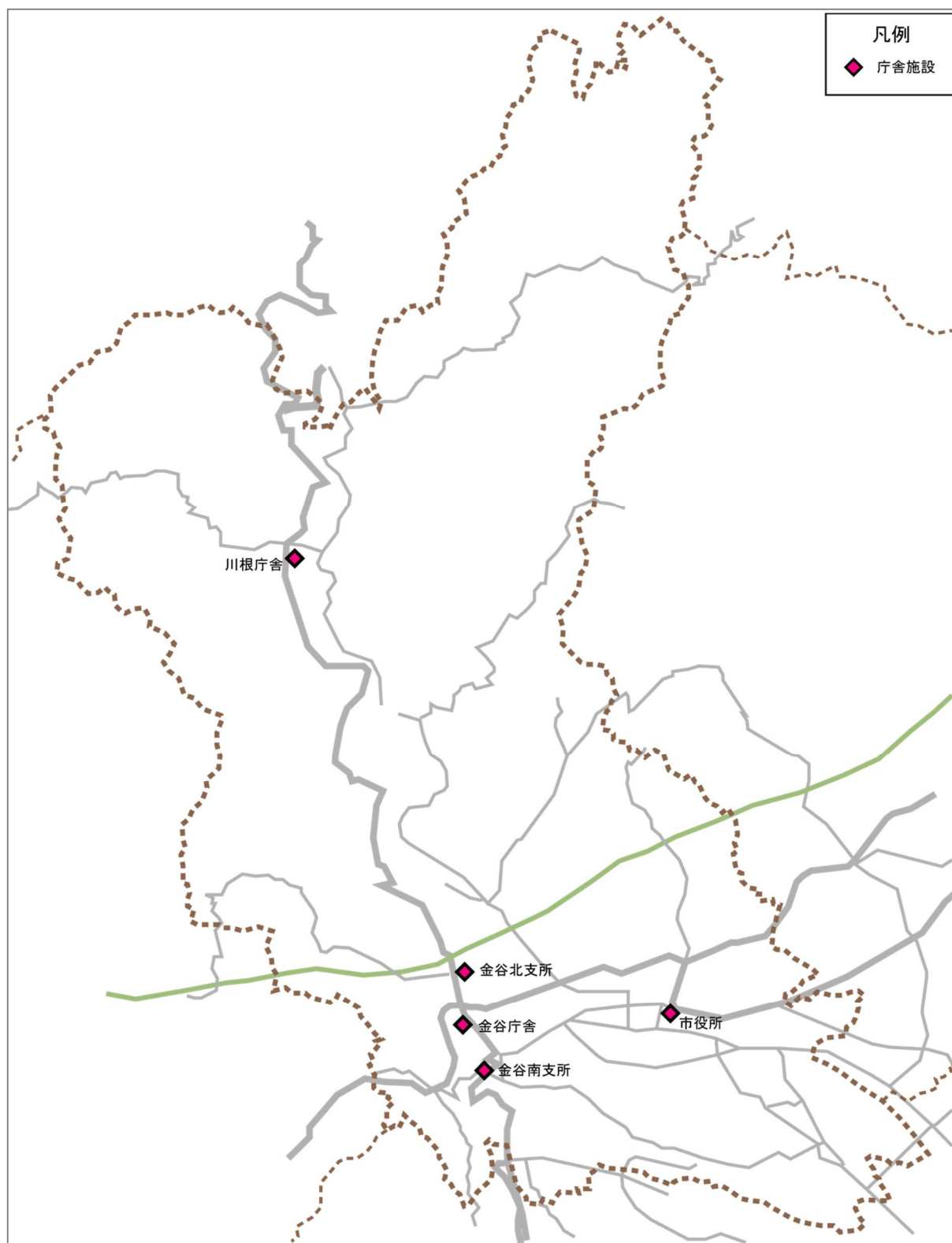


図3-1-2 施設一覧（庁舎施設）

地域	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
中心地域（東部）	市役所	8,303.61	昭和37年	14
金谷地域	金谷庁舎	3,528.03	昭和54年	7
金谷地域	金谷南支所 ^{※1}	75.78	(平成21年)	(1)
五和地域	金谷北支所 ^{※2}	225.25	(平成22年)	(1)
北部地域（川根）	川根庁舎	793.44	平成20年	1

※複数棟ある施設の築年数は主な建物（棟）の建築年を掲載しています。

※1 コミュニティサロン金谷南との複合施設であるため、建物数はコミュニティサロン金谷南において計上し、庁舎施設の建物数の合計には算入しません。

※2 コミュニティサロン金谷北との複合施設であるため、建物数はコミュニティサロン金谷北において計上し、庁舎施設の建物数の合計には算入しません。

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

① 品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

庁舎施設では、市役所本庁舎、金谷庁舎など14棟が建築後30年以上となっています。

図3-1-3 品質状況（庁舎施設）

(平成26年3月末現在)

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積 (㎡)
市役所	本庁舎	昭和37年	52年	5,640.74
	車庫	昭和43年	46年	552.00
	雑庫	昭和43年	46年	180.00
	倉庫1	昭和43年	46年	48.00
	倉庫2	昭和43年	46年	35.00
	第二文書庫倉庫	昭和39年	50年	21.22
	第三文書庫倉庫3	昭和45年	44年	31.68
金谷庁舎	金谷庁舎	昭和54年	35年	3,141.28
	ポンプ室	昭和54年	35年	42.34
	旧町長公用車車庫	昭和54年	35年	33.28
	現業詰所	昭和54年	35年	18.28
	プロパン庫	昭和54年	35年	25.74
	プロア一庫	昭和54年	35年	8.61
	公用車車庫	昭和54年	35年	258.50

② 管理運営経費

図3-1-4 管理運営経費の状況（庁舎施設）

施設名称	収入（千円）			支出（千円）		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市役所	730	566	749	71,567	76,796	90,064
金谷庁舎	861	1,051	1,505	20,539	18,664	20,038
金谷南支所	1,710	1,821	1,871	53,564	53,823	61,328
金谷北支所	2	2	2	40,918	38,002	44,688
川根庁舎	288	274	271	130,442	131,157	129,912

3-2 文化施設

(1) 保有状況

文化施設は7施設、建物数11棟、延床面積22,696.45㎡となっています。配置状況は図3-2-1のとおりです。

図 3-2-1 配置状況（文化施設）

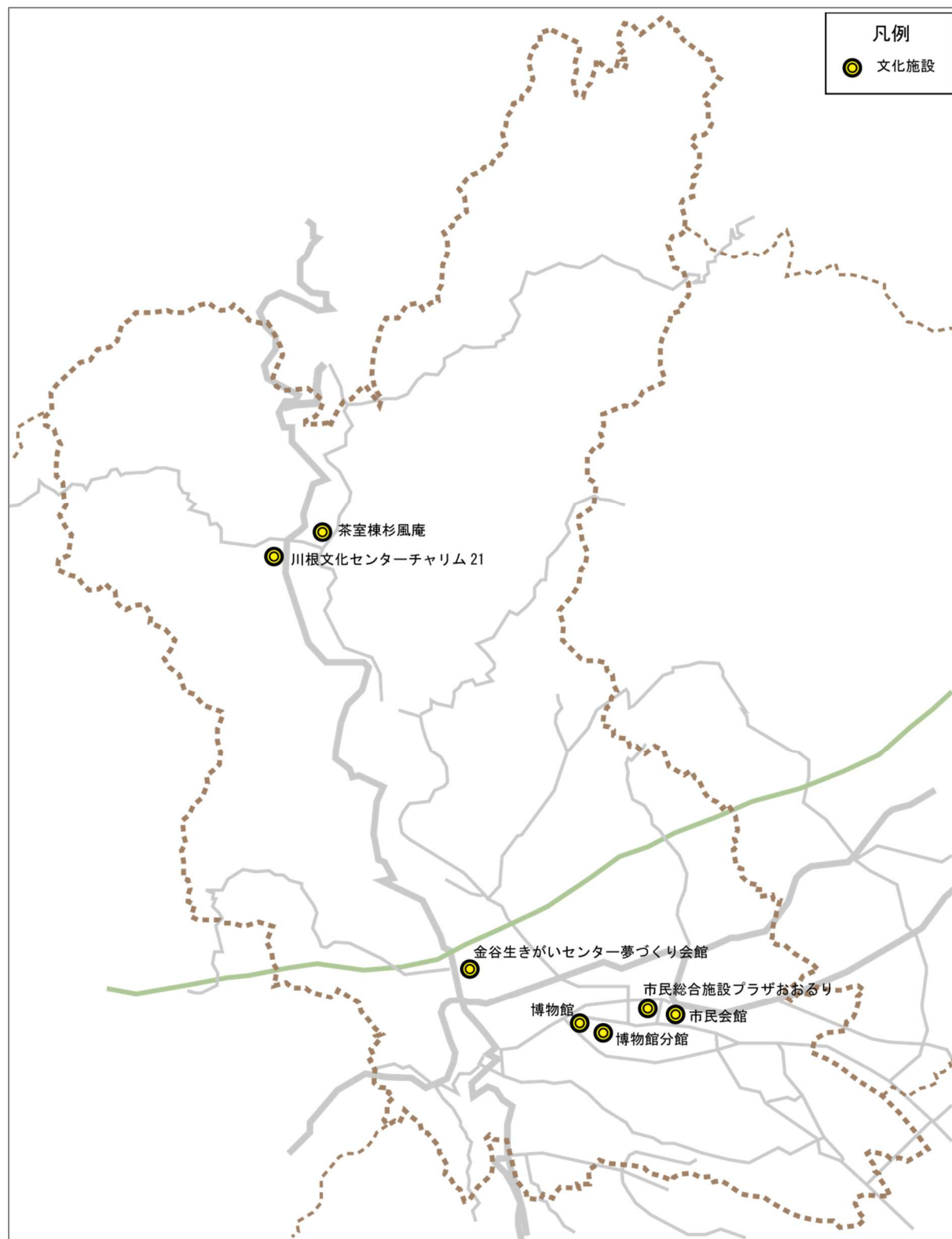


図3-2-2 施設一覧（文化施設）

地域	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
中心地域（東部）	市民会館	3,974.29	昭和42年	1
中心地域（東部）	市民総合施設プラザおおるり	9,275.50	昭和58年	1
五和地域	金谷生きがいセンター夢づくり会館	3,907.96	平成4年	1
北部地域（川根）	川根文化センターチャリム21	3,223.74	平成6年	1
中心地域（西部）	博物館	1,444.62	平成3年	2
中心地域（西部）	博物館分館	746.25	平成12年	4
北部地域（川根）	茶室棟杉風庵	124.09	平成3年	1

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

① 品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

文化施設では、市民会館、市民総合施設プラザおおるりが建築後30年以上となっています。

図3-2-3 品質状況（文化施設）

（平成26年3月末現在）

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積 (㎡)
市民会館	市民会館	昭和42年	47年	3,974.29
市民総合施設プラザおおるり	市民総合施設プラザおおるり	昭和58年	30年	9,275.50

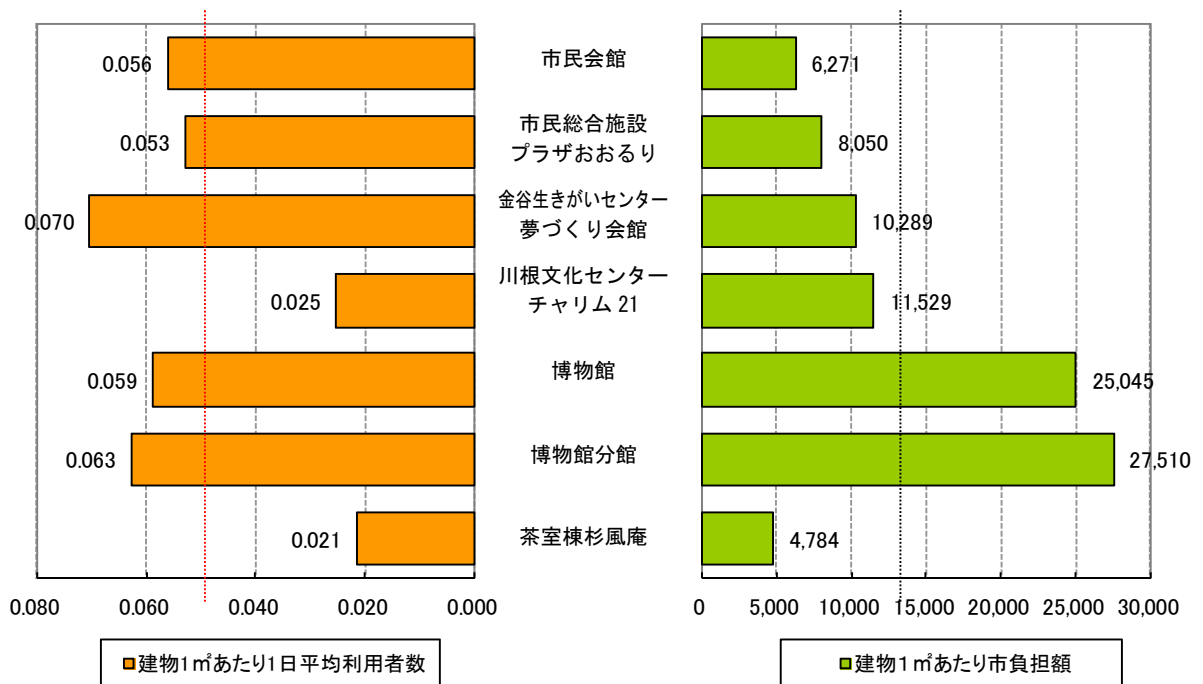
② 管理運営経費

図3-2-4 管理運営経費の状況（文化施設）

施設名称	収入（千円）			支出（千円）		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市民会館	893	5,377	63	25,579	31,169	24,353
市民総合施設プラザ おおるり	2,295	2,124	5,052	70,001	80,362	83,099
金谷生きがいセンター 夢づくり会館	797	161	366	42,022	37,812	42,122
川根文化センター チャリム21	2,372	52	506	38,446	38,840	37,148
博物館	3,891	4,347	4,695	41,126	41,525	38,825
博物館分館	1,969	1,873	1,761	22,534	23,074	21,583
茶室棟杉風庵	3	8	7	457	641	701

③ 管理運営経費・利用状況に関するグラフ

図 3-2-5 利用・管理運営経費の状況（文化施設）



※赤点線は、「面積あたりの1日平均利用者数」、黒点線は「面積当たりの市負担額」の平均値を表しています。

※「面積あたりの市負担額」は3カ年の支出の平均値を使用して算出しています。

3-3 社会教育施設

(1) 保有状況

社会教育施設では、社会教育施設及び図書館に分けて整理します。

社会教育施設は3施設、建物数11棟、延床面積3,501.27㎡となっています。図書館は3施設あり、いずれも他の施設と複合化されています。配置状況は図3-3-1のとおりです。

図 3-3-1 配置状況（社会教育施設）

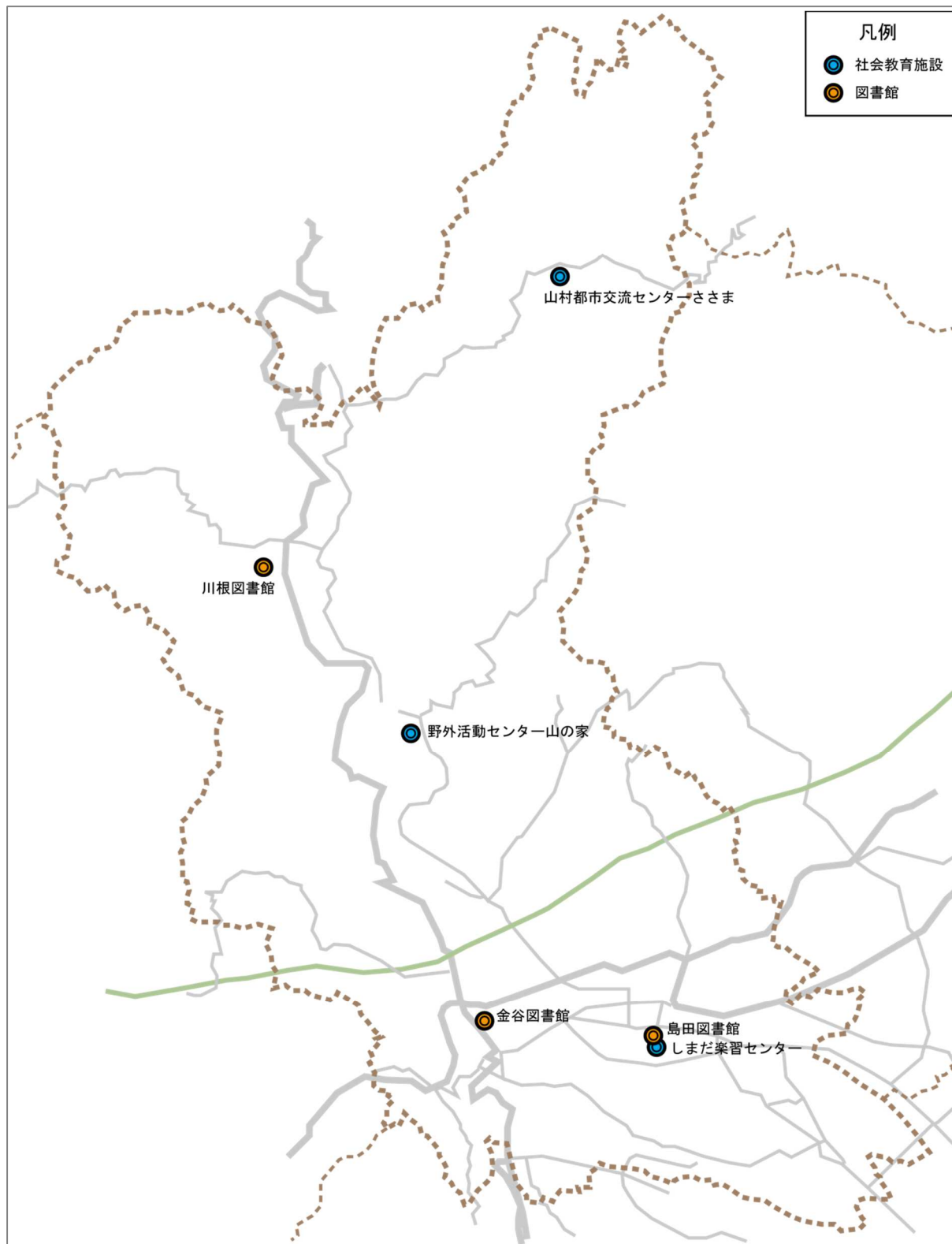


図3-3-2 施設一覧（社会教育施設）

地域	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
北部地域（伊久身）	野外活動センター山の家	1,871.73	昭和59年	8
北部地域（川根）	山村都市交流センターささま	1,629.54	昭和40年	3
中心地域（東部）	しまだ楽習センター※1	(1,354.30)	(平成21年)	(1)

※複数棟ある施設の築年数は主な建物（棟）の建築年を掲載しています。

※1 民間建物を借り上げているため、建物数及び延床面積の合計には算入しません。

図3-3-3 施設一覧（図書館）

地域	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
中心地域（東部）	島田図書館	2,705.66	平成24年	1
金谷地域	金谷図書館※1	1,339.00	(平成17年)	(1)
北部地域（川根）	川根図書館※2	207.00	(平成6年)	(1)

※1 金谷公民館との複合施設であるため、建物数は金谷公民館において計上し、図書館の建物数の合計には算入しません。

※2 川根文化センターチャリム21との複合施設であるため、建物数は川根文化センターチャリム21において計上し、図書館の建物数の合計には算入しません。

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

① 品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

社会教育施設では、野外活動センター山の家及び山村都市交流センターささまが建築後30年以上となっています。

図3-3-4 品質状況（社会教育施設）

(平成26年3月末現在)

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積 (㎡)
野外活動センター山の家	センターハウス	昭和59年	30年	407.91
	ブロー室	昭和59年	30年	3.21
	雑庫	昭和59年	30年	15.00
	炊事棟	昭和59年	30年	25.60
	屋外トイレ1	昭和59年	30年	30.06
	屋外トイレ2	昭和59年	30年	30.06
山村都市交流センターささま	宿舎	昭和40年	49年	1,109.09
	屋内運動場	昭和47年	42年	448.03

② 管理運営経費

図3-3-5 管理運営経費の状況（社会教育施設）

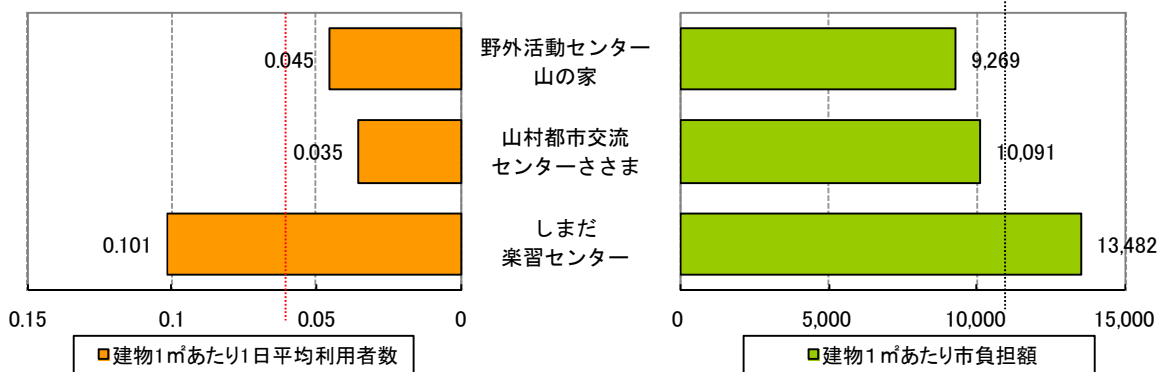
施設名称	収入（千円）			支出（千円）		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
野外活動センター 山の家	31	31	31	20,332	13,446	18,360
山村都市交流センター ささま	0	0	0	16,266	16,943	16,122
しまだ楽習センター	10,844	10,825	10,424	28,738	28,829	29,303

図3-3-6 管理運営経費の状況（図書館）

施設名称	収入（千円）			支出（千円）		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
島田図書館	0	159	127	0	231,447	203,090
金谷図書館	0	0	0	40,674	42,344	42,344
川根図書館	0	0	0	12,286	10,606	10,606

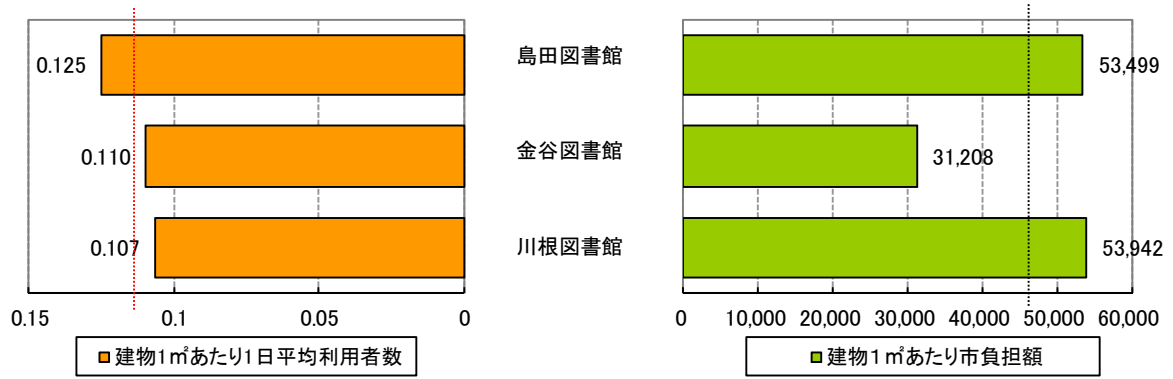
③ 管理運営経費・利用状況に関するグラフ

図 3-3-7 利用・管理運営経費の状況（社会教育施設）



※赤点線は、「面積あたりの1日平均利用者数」、黒点線は「面積当たりの市負担額」の平均値を表しています。
 ※「面積あたりの市負担額」は3カ年の支出の平均値を使用して算出しています。

図 3-3-8 利用・管理運営経費の状況（図書館）



※赤点線は、「面積あたりの1日平均利用者数」、黒点線は「面積当たりの市負担額」の平均値を表しています。
 ※「面積あたりの市負担額」は3カ年の支出の平均値を使用して算出しています。

3-4 公民館等施設

(1) 保有状況

公民館等施設では、公民館等及び集会施設に分けて整理します。

公民館等は、9施設、建物数9棟、延床面積7,647.40㎡となっています。集会施設は、29施設、建物数20棟、延床面積7,397.76㎡となっています。配置状況は図3-4-1のとおりです。

図 3-4-1 配置状況（公民館等施設）

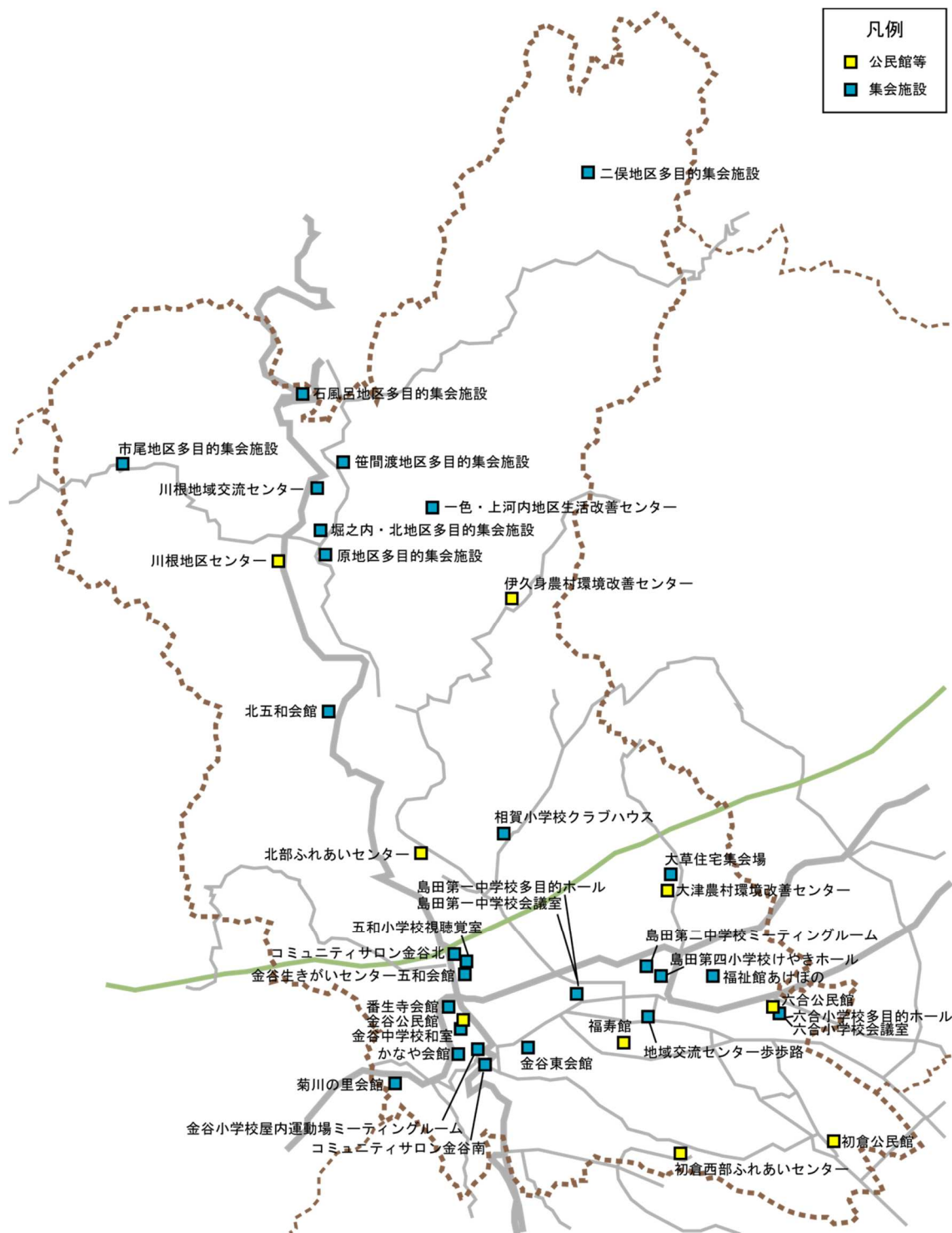


図3-4-2 施設一覧（公民館等）

地域	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
六合地域	六合公民館	1,236.61	平成21年	1
初倉地域	初倉公民館	1,477.25	平成21年	1
金谷地域	金谷公民館	1,490.98	平成17年	1
北部地域（大津）	大津農村環境改善センター	995.00	昭和63年	1
北部地域（伊久身）	伊久身農村環境改善センター	449.00	昭和59年	1
北部地域（大長）	北部ふれあいセンター	530.95	平成9年	1
初倉地域	初倉西部ふれあいセンター	500.00	平成12年	1
北部地域（川根）	川根地区センター	875.05	昭和57年	1
中心地域（南部）	福寿館	92.56	昭和42年	1

※複数棟ある施設の築年数は主な建物（棟）の建築年を掲載しています。

図3-4-3 施設一覧（集会施設）

地域	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
中心地域（東部）	地域交流センター歩歩路	1,396.74	平成16年	1
北部地域（大津）	大草住宅集会場	81.57	平成18年	1
中心地域（東部）	福祉館あけぼの	250.07	昭和60年	1
五和地域	番生寺会館	269.25	昭和49年	1
金谷地域	かなや会館	412.25	昭和63年	1
五和地域	金谷生きがいセンター五和会館	271.20	平成3年	1
金谷地域	コミュニティサロン金谷南	682.93	平成21年	1
五和地域	コミュニティサロン金谷北	410.52	平成22年	1
金谷地域	金谷東会館	397.61	昭和63年	1
五和地域	北五和会館	370.85	平成2年	2
金谷地域	菊川の里会館	484.83	平成8年	1
北部地域（川根）	川根地域交流センター	440.55	平成9年	1
北部地域（川根）	一色・上河内地区生活改善センター	131.76	昭和50年	1
北部地域（川根）	堀之内・北地区多目的集会施設	208.80	昭和56年	1
北部地域（川根）	二俣地区多目的集会施設	153.74	昭和56年	1
北部地域（川根）	原地区多目的集会施設	151.34	昭和58年	1
北部地域（川根）	石風呂地区多目的集会施設	156.16	昭和61年	1
北部地域（川根）	市尾地区多目的集会施設	73.55	昭和62年	1
北部地域（川根）	笹間渡地区多目的集会施設	142.12	平成5年	1
中心地域（東部）	島田第四小学校けやきホール※	94.50	(昭和40年)	(1)
六合地域	六合小学校多目的ホール※	171.08	(平成16年)	(1)
六合地域	六合小学校会議室※	49.00	(平成16年)	(1)
北部地域（大長）	相賀小学校クラブハウス※	111.78	(昭和53年)	(1)
金谷地域	金谷小学校屋内運動場 ミーティングルーム※	63.60	(昭和59年)	(1)
五和地域	五和小学校視聴覚室※	120.00	(昭和54年)	(1)

※ 各小中学校との複合施設であるため、建物数は各小中学校において計上し、集会施設の建物数の合計には算入しません。

地域	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	棟数
中心地域（西部）	島田第一中学校多目的ホール※	120.87	（平成17年）	（1）
中心地域（西部）	島田第一中学校会議室※	36.64	（平成17年）	（1）
中心地域（東部）	島田第二中学校ミーティングルーム※	49.45	（平成11年）	（1）
金谷地域	金谷中学校和室※	95.00	（昭和50年）	（1）

※ 各小中学校との複合施設であるため、建物数は各小中学校において計上し、集会施設の建物数の合計には算入しません。

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

① 品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

公民館等では伊久身農村環境改善センターなど3施設3棟が、集会施設では番生寺会館など5施設5棟が建築後30年以上となっています。

図3-4-4 品質状況（公民館等）

（平成26年3月末現在）

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積 (㎡)
伊久身農村環境改善センター	伊久身農村環境改善センター	昭和59年	30年	449.00
川根地区センター	川根地区センター	昭和57年	32年	875.05
福寿館	福寿館	昭和42年	47年	92.56

図3-4-5 品質状況（集会施設）

（平成26年3月末現在）

施設名称	建物名称	建築年	経過年数	延床面積 (㎡)
番生寺会館	番生寺会館	昭和49年	40年	269.25
一色・上河内地区 生活改善センター	一色・上河内地区 生活改善センター	昭和50年	39年	131.76
堀之内・北地区 多目的集会施設	堀之内・北地区 多目的集会施設	昭和56年	33年	208.80
二俣地区多目的集会施設	二俣地区多目的集会施設	昭和56年	33年	153.74
原地区多目的集会施設	原地区多目的集会施設	昭和58年	31年	151.34
島田第四小学校けやきホール	（島田第四小学校）	（昭和40年）	（49年）	94.50
相賀小学校クラブハウス	（相賀小学校）	（昭和53年）	（36年）	111.78
金谷小学校屋内運動場 ミーティングルーム	（金谷小学校）	（昭和59年）	（30年）	63.60
五和小学校視聴覚室	（五和小学校）	（昭和54年）	（35年）	120.00
金谷中学校和室	（金谷中学校）	（昭和50年）	（39年）	95.00

② 管理運営経費

図3-4-6 管理運営経費の状況（公民館等）

施設名称	収入（千円）			支出（千円）		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
六合公民館	656	691	670	10,500	14,140	14,063
初倉公民館	316	329	317	11,859	13,823	13,995
金谷公民館	223	232	279	22,989	21,979	21,902
大津農村環境改善センター	95	129	159	9,913	8,328	7,372
伊久身農村環境改善センター	54	53	68	7,166	5,066	5,055
北部ふれあいセンター	167	158	158	9,901	8,693	9,599
初倉西部ふれあいセンター	68	40	49	7,249	7,073	6,724
川根地区センター	168	173	179	8,948	8,944	10,089
福寿館	0	0	0	2,080	2,025	2,028

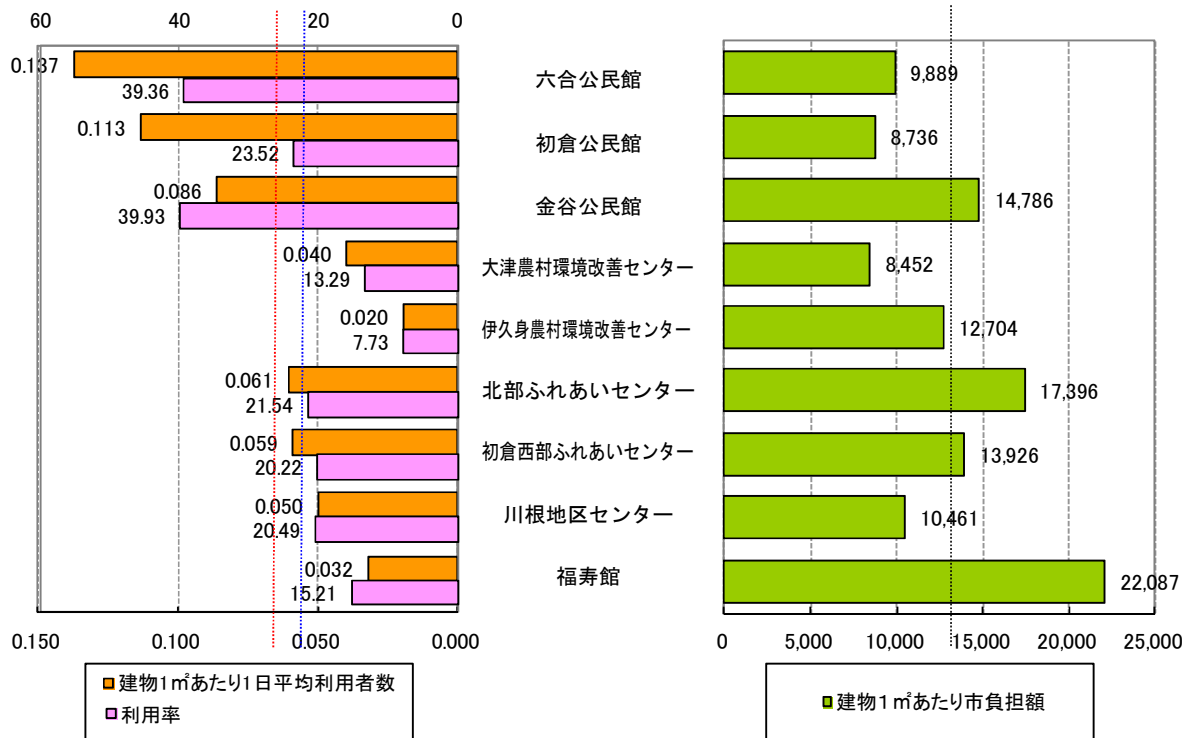
図3-4-7 管理運営経費の状況（集会施設）

施設名称	収入（千円）			支出（千円）		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
地域交流センター歩歩路	0	0	0	9,979	9,870	10,039
大草住宅集会場	0	0	0	0	0	0
福祉館あけぼの	89	94	100	5,808	5,982	6,073
番生寺会館	61	72	84	8,686	4,296	4,673
かなや会館	0	0	0	2,468	987	800
金谷生きがいセンター五和会館	0	0	0	0	0	0
コミュニティサロン金谷南	683	713	701	21,776	20,846	20,698
コミュニティサロン金谷北	444	383	414	15,796	15,633	15,678
金谷東会館	0	0	0	1,838	623	630
北五和会館	0	0	0	74	83	95
菊川の里会館	0	0	0	200	203	203
川根地域交流センター	0	0	0	36	37	35
一色・上河内地区生活改善センター	0	0	0	4	1,546	2
堀之内・北地区多目的集会施設	0	0	0	4	5	5
二俣地区多目的集会施設	0	0	0	5	4	4
原地区多目的集会施設	0	0	0	8	8	1,583

施設名称	収入（千円）			支出（千円）		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
石風呂地区多目的集会施設	0	0	0	8	8	8
市尾地区多目的集会施設	0	0	0	4	4	4
笹間渡地区多目的集会施設	0	0	0	8	7	7
島田第四小学校けやきホール	15	19	18	0	0	0
六合小学校多目的ホール	124	119	87	0	0	0
六合小学校会議室	0	0	0	0	0	0
相賀小学校クラブハウス	0	0	0	0	0	0
金谷小学校屋内運動場ミーティングルーム	0	0	0	0	0	0
五和小学校視聴覚室	0	0	0	0	0	0
島田第一中学校多目的ホール	3	2	2	0	0	0
島田第一中学校会議室	0	0	0	0	0	0
島田第二中学校ミーティングルーム	0	1	3	0	0	0
金谷中学校和室	0	0	0	0	0	0

③ 管理運営経費・利用状況に関するグラフ

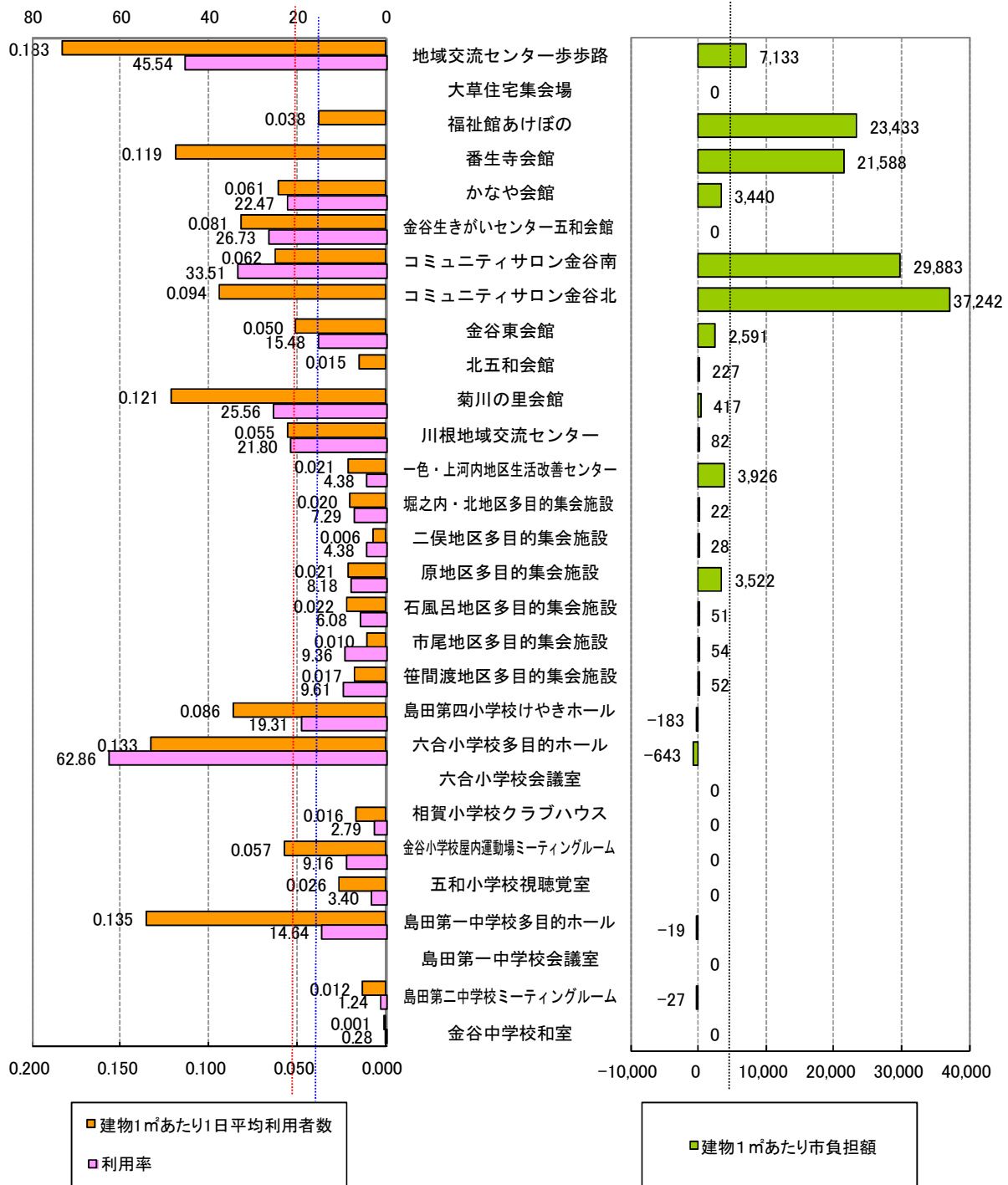
図 3-4-8 利用・管理運営経費（公民館等）



※赤点線は「面積あたり 1 日平均利用者数」、青点線は「利用率」、黒点線は「面積あたりの市負担額」の平均値を表しています。

※「面積あたりの市負担額」は3カ年の支出の平均値を使用して算出しています。

図 3-4-9 利用・管理運営経費（集会施設）



※赤点線は「面積あたり 1 日平均利用者数」、青点線は「利用率」、黒点線は「面積あたりの市負担額」の平均値を表しています。

※「面積あたりの市負担額」は3カ年の支出の平均値を使用して算出しています。